

2022年度教育テーマ：「寄り添う」

現在、入院患者さんはコロナウイルス感染症への対策により面会が制限されています。また職場環境においては、歓迎会など職員同士のオフタイムの会食が制限されており、新就職者は新しい人間関係の構築の機会が減っています。  
 そこで今年度の看護研修は、不安や孤独感を抱える患者さんにもっと“寄り添う”看護を提供し、そして新就職者に“寄り添い”、職員同士のつながりが持てるような研修をテーマに取り組みます。

| 項目    | 日時           | 形式         | 講師       | 対象者  | 目的・目標         |   |
|-------|--------------|------------|----------|------|---------------|---|
| 経年別研修 | 新採用者研修       | 4月         | 講義<br>実習 | 教育委員 | 新就職者<br>中途採用者 | 当院の特性を知る。<br>就職人としての意識を持ち、仕事に臨む準備が出来る。<br>基礎看護技術を学ぶ。  |
|       | 新人3か月研修      | 7月         | 懇談       | 教育委員 | 新就職者          | 3ヶ月間を振り返り、仲間との相互作用を通して、チームにおける自分の立場を理解し、愛育病院の一員としての活動ができる。<br>①日々の指導者に報告・相談ができ、スタッフとのコミュニケーションがとれる。<br>②基本的な看護技術を、マニュアルに沿って行える。<br>③一日の業務や週間業務がマニュアルに沿って行える。<br>④患者とのコミュニケーションがとれる。 |
|       | 新人6か月研修      | 10月        | グループワーク  | 教育委員 | 新就職者          | 6ヶ月間を振り返り、仲間との話し合いを通して、自分の看護が展開できるようになる。<br>①日常の看護を振り返り、自らの問題点を探る事が出来る。<br>②①で気づいた問題点を、参加者メンバーが各々の問題点として捉え、その問題を引き起こしている原因を明確にし、解決の糸口を見出すことが出来る。                                    |
|       | 夜勤前研修        | 10月        | 講義       | 教育委員 | 新就職者          | 夜勤勤務をイメージすることが出来る。<br>現場でありがちな場面を想定して、その対応方法や姿勢などを考える機会とし、夜勤をする心構えが出来る。   |
|       | 看護過程Ⅰ        | 11月<br>12月 | 事例検討会    | 教育委員 | ラダーⅠ          | ディスカッションを通して、アセスメントする力を養い、個別性を踏まえた看護過程を展開できる能力を養う。<br>①看護過程の展開に取り組み、患者の全体像を把握できる。<br>②アセスメントを行い、看護の方向性を示すことが出来る。<br>③看護の目標を具体的に設定し、評価できる。<br>④個別性を尊重した日常生活の援助に結びつけて考えることが出来る。       |
|       | 新人1年フォローアップ  | 3月         | シミュレーション | 主任   | 新就職者          | 多重課題・時間切迫の状況下で安全に優先順位を選択し、患者に適切なケアが提供できるかどうか、シミュレーション研修で実践し評価する。  |
|       | 2年目フォローアップ研修 | 8月         | グループワーク  | 教育委員 | ラダーⅡ          | 自己の看護を振り返り、自分らしく看護ができる。<br>チームの一員として、自主的に役割を果たすことができる。  |
|       | 看護過程Ⅱ        | 12月        | 発表       | 教育委員 | ラダーⅡ          | 自分の行った看護を振り返りアセスメントし、発表することを通して看護する力、プレゼンテーション能力を高める。<br>①患者の全体像を把握し、総合アセスメント能力を身に付ける。<br>②事例の再検討をすることで、事故の日常の看護を振り返り、今後の看護実践に活かすことができる。  |

| 項目                      |                            | 日時 | 形式              | 講師        | 対象者  | 目的・目標   |
|-------------------------|----------------------------|----|-----------------|-----------|--|---|
| トピックス研修                 | 輸血の基本                      | 5月 | 講義              | 血液内科医師    | 新就職者   | 輸血の安全な取扱いについて学ぶ<br>・輸血用血液製剤の種類と特徴・輸血の実施にあたって・取り扱いにおける注意事項<br>・輸血に必要な検査・輸血副作用  |
|                         | 輸血の安全な取扱いと看護               | 5月 |                 | 臨床輸血看護師   | 新就職者   | 輸血時の看護<br>・当院での輸血の流れ・輸血施行時の観察点・輸血時におきやすい副作用<br>・輸血にまつわる事故事例・休日の対応   |
|                         | 手術室・中材研修                   |    | 講義              | 教育委員      | 新就職者   | 滅菌物の取扱い・操作、医療材料の管理について学ぶ  |
|                         | 輸液ポンプ・シリンジポンプの取扱い          | 5月 |                 | 臨床工学技士    | 新就職者   | 輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な取り扱いと管理について学ぶ。<br>・ME機器の基礎知識・輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い・目的と観察項目・日常点検   |
|                         | がん薬物療法<br>①基本的な知識の習得       | 5月 | 講義              | 認定Ns.     | 新就職者   | がん薬物療法中の、看護ケアのポイントを理解し、看護実践に活かす   |
|                         | がん薬物療法<br>②症状への基本的対応の理解と実施 | 5月 |                 | 認定Ns.     | 新就職者   | がん薬物療法に伴う主な有害事象の発生機序と予防について学ぶ。<br>がん薬物療法に伴う主な有害事象出現時の援助ができる。  |
|                         | がん薬物療法<br>③治療薬の違い(作用機序)    | 6月 |                 | 薬剤師       | 新就職者   | 抗がん剤の特性に応じた副作用を理解し、観察できる。   |
|                         | がん薬物療法<br>④曝露対策            | 6月 |                 | 教育委員      | 新就職者   | 抗がん剤を取り扱う看護師が、曝露対策について正しい知識を持ち、安全に取り扱うことができる。   |
|                         | 内視鏡研修                      | 6月 |                 | 内視鏡Ns.    | 新就職者   | 内視鏡センターで行われている検査・治療を見学し、前処置や、処置後の看護に役立てる。<br>PACSの記録の見方を知る。   |
|                         | 急変時の看護<br>初期対応～AED         | 7月 |                 | BLSプロバイター | 看護部全員  | 急変を予測～初期対応(BLS～ALS)～AED～静脈路の確保～薬剤投与(救急カート)までを関連付けて理解する。   |
|                         | 急変時の看護<br>挿管介助～人工呼吸器装着     | 7月 |                 |           | 看護部全員  | 気管挿管の準備と介助、人工呼吸器への装着と初期設定について理解する。  |
| 急変時の看護<br>急変対応のシミュレーション | 8月                         |    |                 | 看護部全員     | 急変時のチーム医療、急変時の役割分担を考える。<br>夜間を想定したシミュレーションで、実践力を高める。 |   |
| リーダーシップ研修               | リーダーシップ研修 I                | 6月 | 基調講演<br>グループワーク | 看護部長      | リーダー II  | 看護実践を通し、自己の看護感を発展させるとともに、リーダーシップが発揮できる。<br>①リーダーの役割を理解する。<br>②チーム内での自己の役割・位置を理解し、日常業務の中に自己のできることが見いだせる。<br>③リーダーシップに関する自己の態度を振り返ることで、問題意識を持ち、自己啓発につなげることができる。 |

| 項目                       |            | 日時                | 形式   | 講師      | 対象者       | 目的・目標   |
|--------------------------|------------|-------------------|------|---------|-----------|---|
| ラダー別研修                   | 中途採用者研修①②③ | ①5月<br>②9月<br>③2月 | 懇親会  | 看護部長    |           | 前の職場とのフラッシュバックや、混乱・戸惑いを解消し、それぞれが持っている様々な経験を活かして仕事ができる。<br>*1回1時間程度のディスカッションと、その6か月後にフォローアップ研修 |
|                          | ベテランナース研修  | 2月                | 懇親会  | 看護部長    | ラダーⅣ      | チーム活性化のために必要な中堅看護師としての役割を確認する。  |
| 伝達講習                     |            | 未定                | 講義   | 研修受講者   | 看護部全員     | 研修で得た新しい知識やトピックスを伝達する。<br>★研修参加状況に合わせ、日程・内容を調整します。  |
| 院内研究発表会                  |            | 2月                | 発表会  | 座長:教育委員 | 院内職員      | 研究の視点を持った看護師の育成。  |
| 血液内科勉強会                  |            |                   | 講義   | 血液内科医師  | 院内職員      | 造血器疾患の基本・治療の最新知識を学ぶ。  |
| 消化器内科勉強会                 |            |                   | 講義   | 消化器内科医師 | 院内職員      | 消化器疾患の基本・治療の最新知識を学ぶ。  |
| 看護の日                     |            | 未定                | 看護体験 |         | 看護協会からの依頼 | 高齢化社会を支えて行くために、入院患者とのふれあいを通して、「看護の心」について、関心と理解を深めてもらう。  |
| 看護助手研修<br>①感染対策<br>②看護ケア |            | ① 5月<br>② 1月      |      | 教育委員    | 看護助手      | チームの中で看護助手の力を発揮できる。<br>環境調整技術、食事援助技術、排泄介助、清潔・衣生活援助が安全・安楽にできるようになる。                            |